

潮流

鳥取に大学誘致を計って十五年、なぜ実現しないのであるのか？ 誘致に成功した市に比べて、資金の準備、市・県議が大学側へ日

参する程の熱意に欠けること、来る大学側の立場に立った、消費者オリエンテッドな発想に欠けることである。この点、三年前、鳥取

国際企業文化研究所所長 尾脇準一郎



鳥取の活性化と大学設置

市調査レポートで国土庁長 中を含め、三つの大学が、し添えておきたい。

大都市からの借り物イべ た筑波大学は、高度経済成

官賞を受賞した宮寺氏の指 新潟では今年四つの大学が ます、市・県政に頼つて ントも、受け皿がない限り、 長下の日本で、大学紛争、 摘、「鳥取市民気質を引つ それぞれ開校したが、付和 とは、大学の位置付けであ 地元文化、情報、知識は 田中政権、東京教育大の移 込み思案の殿様商売と見 雷同、手前勝手な発想を醸 する。鳥取市の予算配分を見 根付かない。多くの優秀な 転という社会情勢の中で、 た。これが地域活性化の方 しく分別して、使命感にま ても、老人福祉に偏ってお 人材も、その優秀な技能を 「国際A級の大学を」と ンであり、この点を直きな で昇華するような二ードを り、これでは若者でにきわ 地元で還元できない。大学 いう福田信之マスタートラ ン委員長を中心とする教授 探るべきであろう。小生は う街づくりは、「夢のまた はこの受け皿でもある。 三年前、地元との協力を受け、 夢」であろう。 東京で数十年、大学界に たちの、憂国の情、教育熱 から生まれたものであっ た。金も政治も、志あれば ついて来るといった「気概」 が重要であることを、筑波 大や新潟の国際大学の例は 教えている。先日亡くなら れた宮崎正雄先生(筑波大 学参与)は、根っからの教 育者であられた。最後にお 伺いした折、政治の話はか けらもなく、ただ教育者と しての心構えを、時間を忘 れて遺言のごとく語って下 心からお祈りしたい。

致しを行っても、うまく いく保証はない(ほ正議ご く)を得ている。

鳥取の弱点を長所に変える

大学は、教育、研究、奉 携わって、多くの大学の浮

「逆転の発想」とも言つべ き、「国際社会の二ード」

来社会への対峙、生涯教育 は、人とビジョンと資金が 伺いした折、政治の話はか

この打開策は？ 「なぜ 今、大学設置なのか？」

国際貢献の必要性を痛感さ 有効な拠点でもある。米国 1パーソンの存在が最も重

その二ードを分析するこ とである。昨年、隣の鳥根

費同をいただいたことを申 市がいくつもあ

県には職業訓練大学校準備

七〇年代初頭に設立され

(鳥取市)